多文化共生×東京芸術劇場 公開レクチャーシリーズ［全3回］

アーティストの視点から多文化社会を捉える

Artist's Perspectives on Intercultural Society

会場：vol.1―― オンライン
vol.2、vol.3―― 東京芸術劇場内
参加費：各回1,000円

vol.1 2021年12月8日［水］19:00-21:00 ｜ オンラインレクチャー & トーク

「多文化共生とアート」

高山明（Port B主宰・演出家）／モデレーター：肥髙茉実（美術家・文筆家）

vol.2 2022年1月25日［火］18:30-21:00 ｜ トーク&パフォーマンス

「東京に住む外国人の声と影」

東京影絵クラブ　宮本武典（キュレーター）＋川村亘平斎（影絵師・音楽家）

vol.3 2022年3月19日［土］15:00-17:00 ｜ トーク&パフォーマンス（ワークインプログレス）

「海外にルーツを持つアーティストと多文化共生」

y/n 橋本清（演出家・俳優）＋山﨑健太（批評家・ドラマトゥルク）／モデレーター：若林朋子（プロジェクト・コーディネーター）

東京芸術劇場

東京芸術劇場
Tokyo Metropolitan Theatre

アーティストは多文化社会をどう見ているのか。

東京に住む外国人は約53万人、180以上の国や地域の人々が暮らしています。国籍や習慣、言語などが違う人々が共に生きる多文化社会とどう向き合うのか、３組のアーティストを迎え、それぞれの視点からお話しいただきます。

多文化共生×東京芸術劇場　公開レクチャーシリーズ［全3回］

vol.1　2021年12月8日［水］19:00–21:00　オンラインレクチャー＆トーク

「多文化共生とアート」

高山明（Port B主宰・演出家）、**モデレーター：肥髙茉実**（美術家・文筆家）｜ **オンライン**（Zoomを使用予定）

マクドナルドで難民の講義を受ける「マクドナルドラジオ大学」、東京の街を東京に住む外国人たちがガイドするツアーパフォーマンス「東京修学旅行プロジェクト」などを行ってきた高山明氏に、「多文化共生とアート」をテーマにレクチャーいただき、美術家・文筆家の肥髙茉実氏とのトークも実施いたします。

撮影：奥祐司

高山明（たかやま・あきら）

演出家・アーティスト。演劇ユニットPort B主宰。既存の演劇の枠組を超え、現実の都市や社会に介入するプロジェクトを世界各地で展開している。近年では、美術、観光、文学、建築、教育といった異分野とのコラボレーションに活動の領域を拡げ、演劇的思考や発想によって様々なジャンルでの可能性の開拓に取り組んでいる。

Photo by KumiNishitani

肥髙茉実
（ひだか・まみ）

vol.2　2022年1月25日［火］18:30–21:00　トーク＆パフォーマンス

「東京に住む外国人の声と影」

東京影絵クラブ 宮本武典（キュレーター）＋**川村亘平斎**（影絵師・音楽家）｜ **会場：東京芸術劇場シンフォニースペース**（5階）

「東京影絵クラブ」は、海外にルーツを持つ人々の「東京」をめぐるオーラルヒストリーを影絵化するプロジェクト。多様な視座をスクリーンに映し出しながら、母語や根差す文化が異なる人々が共に生きる「あたらしい東京」に着目したこのプロジェクトについて、パフォーマンスを織り交ぜながらお話しいただきます。

Photo: Kohei Shikama

宮本武典（みやもと・たけのり）

キュレーター、アートプロデューサー。大学や美術館を起点に、自治体・企業・地域コミュニティと協働するアートプロジェクトや教育プログラムを展開。主な事業として「山形ビエンナーレ」(2014～ 2018)、「東京ビエンナーレ2020/2021」、「角川武蔵野ミュージアム」(2019)、「東根市公益文化施設まなびあテラス」など。2018年まで東北芸術工科大学教授・主任学芸員。現在、東京藝術大学テクニカルインストラクター。

Photo: Naoko Kumagai

川村亘平斎（かわむら・こうへいさい）

影絵師、ミュージシャン。インドネシア共和国・バリ島にのべ2年間滞在し、影絵人形芝居「ワヤン・クリット」と伝統打楽器「ガムラン」を学ぶ。アジアを中心に世界各国で影絵と音楽のパフォーマンスを発表。また、日本各地でフィールドワークやワークショップを通じて、土地に残る物語を影絵作品として再生させる活動に取り組む。ガムランを使った音楽ユニット「滞空時間」主宰。第27回五島記念文化賞美術新人賞受賞(2016)。

vol.3　2022年3月19日［土］15:00–17:00　トーク＆パフォーマンス（ワークインプログレス）

「海外にルーツを持つアーティストと多文化共生」

y/n（橋本清+山﨑健太）、モデレーター：若林朋子（プロジェクト・コーディネーター）｜ **会場：東京芸術劇場シンフォニースペース**（5階）

ブラジルにルーツを持つ演出家・橋本清氏。本人の出自や多文化共生にまつわる事柄をy/n自らリサーチし、日本の多文化社会の状況に向き合いながら、2022年度以降に上演予定の新作レクチャーパフォーマンスに向けた、トーク＆パフォーマンス（ワークインプログレス）を実施します。

撮影：三上ナツ子

撮影：三野新

y/n

演出家・俳優の橋本清（写真左）と批評家・ドラマトゥルクの山﨑健太（写真右）によるユニット（2019年結成）。リサーチやドキュメンテーションに基づくパフォーマンスなどのプロジェクトを展開し、持続的な活動を目指す。y/nは二項対立、矛盾、答えに達する以前の状態、検索不可能性＝不可視性、匿名性、個人的な欲望、円を含意する。

撮影：安田有里 ©Ko Na design

若林朋子
（わかばやし・ともこ）

各回共通 料金：1,000円（税込）｜ **各回定員：50名程度**（先着順）｜ **申込開始日　vol.1：11月15日［月］　vol.2：12月6日［月］　vol.3：1月24日［月］**

受講のお申込み

※本プログラムの内容は、予告なく変更になる場合がございます。

右記URLよりご予約ください ▶ **https://coubic.com/tmt/booking_pages**

お問合せ：東京芸術劇場　教育普及担当　TEL：03-5391-2111（代表）　**メール：**seminar@geigeki.jp

※クレジットカードのみのお支払となります。 ※お申込み時にいただく個人情報は、本レクチャー以外の目的には使用しません。

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場

助成：文化庁　文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）｜独立行政法人日本芸術文化振興会

東京芸術劇場
Tokyo Metropolitan Theatre